



2016~2017

# 沼田ロータリークラブ会報

人類に奉仕するロータリー  
ROTARY SERVING HUMANITY

2016~2017年度 国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 小菅茂雄 幹事 西田俊太郎 会報編集 綿貫利彦  
例会場 ティラン 事務所 沼田市西倉内町669-1 沼田商工会議所3階 TEL 0278-24-1177

第2908回 例会報告

2016年11月5日

記録 桑原伸一郎

## 例会予告

11/8	ガバナーを終えて 生方 彰 先生
11/15	利根信100周年 峯川卓美 理事長

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2016年11月8日発行 No.18

## ロータリーの素晴らしさ

第2830地区バストガバナー 関場 慶博 先生



### ■講師紹介

水石清治君

1950年青森県藤崎町生まれ、76年福島県立医科大卒、78年~80年ガーナで医療活動、83年クリニック開業、88年弘前RC入会、00~01年2830地区ガバナー、06~07年ポリオのない世界のための国際奉仕賞受賞、11年6月弘前アップルRC設立特別代表、現在弘前アップルRC在籍。

私は11年に横山バストガバナーとインドでのポリオ投与の時お世話になりました。毎年インドに行かれ知ってはいましたが、現地での指導を見てすごいと感じさせられました。来年2月に終結行事でインドに行かれるそうですが、次にはミャンマーでの活動を考えておられるそうです。

### ■卓話

沼田には07年地区協の時や、それ以前か

ら来ていると思います。5時半に青森から羽田そして本庄で浅田さんと合流して来ました。水石さんに沼田市内を案内していただき、真田氏との関係を初めて知りました。

弘前はりんご畑ばかりで、その隣町が藤崎町で、「ふじ」の品種を開発したところです。国光とデリシャスをかけ合わせて改良されました。

78~80年にガーナで小児科医として28歳の時に妻と子と行きました。ガーナは58年独立し教育レベルがアフリカの中では高いほうで、野口英世が研究した国で銅像も立っていて、知らない人はいないそうです。私の医師としての活動はこの頃の体験が元になっていると思います。

ガーナで1番大変だったのは水でした。外人居住地区には水道がありましたが、泥が混



ざるような水で断水も多く、飲み水はエアコンからの水滴を溜め、沸かしていました。一般の方はもっと衛生環境は悪く、病原菌が水に多く含まれ発病されます。自分でも注意していたのですが、奥地に行った時チョウチフスを発病し、生死をさまよいました。

当然ポリオの子も多く、死んでいるのが多く見られました。医療体制もなく、ポリオワクチンも高価であったり、ワクチンの保存もできないような環境です。

80年に帰り、その8年後父が亡くなり、その時いろいろお世話になった方に入会を勧められ、弘前RCに38才で入会しました。

業務も多忙で若かったので、例会出席が悪く辞めようと思っていた時に、先輩が例会前に来てくれて、わざわざ誘ってくれ、いろいろな話を聞くこともでき、ロータリーを再確認して楽しく続けることができ、その方には感謝しています。

インターアクトやローターアクトの若い人の青少年奉仕を担当し、海外研修でネパールに行き、共に語り行動して、奉仕の楽しさに感動しました。その時行った方と今でも連絡する中で、国際奉仕と青少年育成に役立っていることも知りました。

2001年50才でガバナーになり、多くの方を知り友情で結ばれ、日本だけでなく世界ともつながり、ロータリーという世界が広がりました。妻が背中を押してくれたお陰です。

インドへは2001年から15年間続けて行っています。14年にはインドでポリオ根絶宣言され、3年間発症無しで根絶されました。弘前の仲間から始まり、だんだん広がって毎

回40名以上の仲間が全国から参加していただきました。仲間は奉仕の下にクラブを越え、地区、更には国をも越えた交流と友情です。バッジを見ればロータリアンとわかり声を掛けあい友情となって、仕事にもつながっていくと思います。

1905年ポールハリス38才で4人の仲間から始まり、混乱した世の中で心から信頼できる友を作るためまず親睦からでした。親睦だけでしたら今日まで続かなかったと思います。奉仕の精神が加わり、人々に役立つことを柱としたので続けていると思います。国連加盟国より多い220の国・地域からの加盟があり世界の平和のために奉仕の実践を約束した仲間の集まりです。

近年ロータリーは、寛容を超越した多様性を求めています。多世代でそれぞれ価値観が違い、それを理解する必要があります。各クラブはその多様性を受け入れ抱えながら進めていかなくてはならないと思います。

弘前RCは70年を超える伝統的クラブです。4年前に新クラブ設立のため特別代表で取り組みました。通常は設立すると元のクラブにいますが、自分が集めた会員を育てるため、恩ある弘前には理解してもらい、移籍しました。

24人から始まり来年で5周年でやっとクラブらしくなりました。若い世代をどう取り入れて続けられるのか、多様性をどう受け入れるか考え、会費7万円、食事無し、例会場は公民館、更に35才以下は6万円にしました。若者や女性、主婦でも出席できるよう夜7時点鐘で8時までです。今迄のクラブを否

定するものではなく、新しい形でも活動はできるし仲間も増え30名になりました。

例会出席率の低下は仕方ない面もあります。クラブの方針を理解し、会員のつながりが大切で、多様性の中で月1回ネットでの例会を取り入れました。賛否ありますが、クラブとは何か。地区やRIの関係ではなく、会員が楽しくつながれる事が大事です。eクラブもあったり、毎週例会も変わるよう規定審議会でも変わりました。多様性を認め、20代30代を入れるのはそれしかないと思いますし、全部ネットではなく、会って話すことが大事です。その中から奉仕が生まれるのです。

楽しくないと続かない。そのために例会出席をして奉仕の仲間がいることで、出席もだんだん良くなる。人間社会では寛容性を持って互いに認め合うことです。

3年前より小児科医とのつながりでミャンマーに行っています。民主化されて少し豊かになってきているように感じますが、予防接種などの医療体制はできていません。ミャンマーでもヤンゴンRCができました。大平洋戦争前のビルマではロータリーが20以上ありましたが軍政でなくなってしまい、やっと復活しました。日本のロータリーとして地元のクラブに協力して何ができるか考えたいと思っています。父が軍医でビルマにいた時、現地の方に助けられたと晩年聞かされていて、機会があり日本人基地にお参りできました。戦争を体験しているわけではないけど、戦争の悲惨さに触れ、国際理解と平和について考えさせられました。

ロータリーの魅力は世界に仲間が広がっていて、ロータリーでなければできない事があります。インドではロータリアンの協力があったから投与ができ根絶できたのです。沼田RCもミャンマーやバングラでもできたのです。

人生で最高なことをロータリーで体験できました。医療活動を通じて、世界の子供達を助けたいと思います。

## 例 会 報 告

- 司 会 深津卓也SAA出席副委員長
- ソング 奉仕の理想 関 真一君
- 来賓及び来訪ロータリアン

第2830地区パストガバナー 関場慶博君  
第2570地区RLIアドバイザー 浅田 進君

### 会長の時間

小菅茂雄会長

関場先生をお招きして「ロータリーの素晴らしさ」についてお話しをいただき、大変楽しみです。

3日に危機管理セミナーと地区決議会がありました。同日にはぐんまマラソンも開催され、フルマラソンに西田君、久保君、山宮君、10キロに関君、小林賢一君が出演し、全員完走され驚きました。西田君は前年10キロ出場した時に来年はフルだとがんばってきたそうです。松下幸之助発言集の中にも、目標を立てたらまず「やろう」と思い、積極的に臨んでこそ成果があがるとあります。5人の方に感動をありがとうと強く言います。

### 幹事報告

西田俊太郎幹事

◎地区より

- ・会員増強3位で地区表彰

### 委員会報告

◎ニコニコ委員会

小暮正人委員長

- ・浅田 進君 沼田RCに久々にお伺いして。
- ・小菅茂雄君 関場先生にはるばる沼田にお越しいただき、心より感謝。
- ・西田俊太郎君 群馬マラソンで人生初のフルマラソン完走でき。完走できるか心配でしたが、5時間切る事ができ。機会を与えてくれた仲間に感謝。
- ・松野正一君 久しぶりに関場さんに逢えてうれしい限りです。本日を楽しみに。
- ・ニコニコ一週間 関場先生をお迎えでき感謝して

保坂充勇君	水石清治君	阿形登氏君
小暮正人君	宮澤孝幸君	桑原敏彦君
綿貫利彦君	天野純一君	深津卓也君
橋本安夫君	山宮敏夫君	関 真一君
金井正樹君	飯島千明君	宮田徳彦君
井熊開三君	今井幸吉君	桑原伸一郎君
春日政志君	久保郁弥君	

◎財団BOX

IN

松野正一委員長

持谷明宏君	春日政志君	小菅茂雄君
天野純一君	松野正一君	金井正樹君
阿形登氏君	宮澤孝幸君	宮田徳彦君
小暮正人君	橋本安夫君	深津卓也君
飯島千明君	保坂充勇君	桑原伸一郎君
保坂充勇君	関 真一君	西田俊太郎君